

ローカル クエスト

自分視点で
まちを遊ぶ
杉戸編



杉戸町
の日常を
楽しむ

いつもの景色を変える旅

本冊子は、なんでもない日常を冒険する旅

「SUGITO LOCAL TRIP」に参加した方々が

自分の視点でまちを見立て、面白がり方を提案する

参加型の新しいまちの地図です。

いつものまちなかを冒険するような気分で歩いてみる。

自転車で風を切って、川辺や田んぼを走り抜け

あちろちろに寄り道しながら、まちの人と話してみる。

あなたもこの地図を手に、まちの景色を変える旅

LOCAL TRIPに出かけてみませんか？



まちなかエリア ▶ MAP 1

誇らしく、新しい。昔の杉戸の商人たち

「喫茶なかむらや」は洋菓子屋「ブルボン」の前身。当時17才の都築さん(左)と店員さん



都築美子さん



Uターンで杉戸町に戻ってきた2013年。デザインの仕事をしている私は、地元で杉戸町のガイドブックを作る仕事に携わりました。その時に資料として出会ったのが昔の杉戸の記録写真。軒先に立つ商人たちの行まいがかっこいい！これは、昭和30年代に高橋写真館が撮影した、東武動物公園駅の東口通りの商店街の写真でした。看板のデザインやコピーも、見ていて飽きない魅力があります。そこでこの写真を広く伝えたいと考えて企画したのが、絵はがき土産「あしたのまち」です。なかの1枚になった「喫茶なかむらや」の都築さんとも写真の便用を快諾してくださり、懐



商店の軒先や看板など全30種類ほど。セットとバラ売りも。



杉戸育ちの杉戸マニアマル

「ひとつ屋根の下」にて販売中！

アールキューブエコ ▶ MAP 2

有機栽培の稲作を続ける熱いご夫婦



立ち話でも伝わってくる米作りに掛ける情熱！

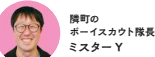
網本さんご夫婦

アールキューブエコのお米「欣(よろこび)の香り」

環境と健康を考えると20年前から「稲が本来の力を発揮できる有機米づくり」にチャレンジしている網本欣一さん、朝香さんご夫婦。話を聞きに行くと、講演会も出来るくらい熱い思いと情報量。「有機栽培を始めたことで、埼玉県では準絶滅危惧Ⅱ類に分類される、銀杏河苔や山椒藻が15年ほど前から復活し、更に数年遅れで車輪藻なども復活してきました。数年前からは川エビの一種、ヌカエビが見られるようになり、有機に転換すること、田んぼの中での生きた植物、生きているが復活している事がわかりました。もちろん、美味しいお米も二度ビックリ。田植え、稲刈り、生き物調査や焼きき季節毎のイベントも開催。楽しそう！



川エビの一種、ヌカエビ



隣のボーイスカウト隊長ミスターY

アールキューブエコで開催されているイベント

10年以上続いている植物&生きの調査イベントの様子。焼き芋イベントなど楽しいイベントも。



きのこ山ラーメン ▶ MAP 3

品数豊富！リピート必至の中華料理屋

国道4号線沿いにある1990年創業の中華料理屋「きのこ山ラーメン」。常連客が多いお店にいらしてみても…。まったりできる古き良き雰囲気、大ボリュームの料理。中毒性のあるスタミナ肉野菜炒め…。「きのこ山」の由

来は、「きのこ好き」というわけではなく、子どもにも覚えてもらいやすい印象的な名前にしたからなのだと。メニューを制覇しに、つつい食べに行きたくなるお店です。

名物「きのこ山らめん」が入っていない

独断ランキング！

1位



歴史の濃い味のラーメン。野菜と肉の組み合わせが美味しい！お酒のつまみにもなるたまご入りの一品。

2位



オムライス(スープ付き) 792円(税込)

3位



チキンステーキ 748円(税込)

「ひとつ屋根の下」にて販売中！

「き」のこ山ラーメン 杉戸町堀根4105-2 全メニューテイクアウトOK 営業時間などはInstagramを確認

家機金員 きのこ山ファン トモヤス

「ひとつ屋根の下」にて販売中！

「き」のこ山ラーメン 杉戸町堀根4105-2 全メニューテイクアウトOK 営業時間などはInstagramを確認

まちなかエリア ▶ MAP 4

食を通じた、ささやかで楽しい交流



お話を聞いた松屋のこうちゃん



いただいた果実で作ったポン酢と果汁

砂糖 コミュニケーション ちづさん

まちなかエリア ▶ MAP 5

“カラフル” 探しも楽しいまち歩き

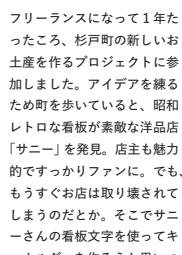
宿場町の面影が残る杉戸の最初の印象は「こげ茶色のまち」。そんな街並みの中であって「カラフル」を探してみようと思いついたら、公園や建物、壁面などにいろんな色を見つけられた。そんなテーマを設定してまち歩きするのもまた楽しい！



楽しいどれ多拠点デザイナー シンドウ

まちなかエリア ▶ MAP 6

グッとくる！杉戸のお店の看板文字



フリーランスになって1年たったころ、杉戸町の新しいお土産を作るプロジェクトに参加しました。アイデアを練るため町を歩いていると、昭和レトロな看板が素敵な洋品店「サニー」を発見。店主も魅力的ですっかりファンに。でも、もうすぐお店は取り壊されてしまうのだとか。そこでサニーさんの看板文字を使ってキーホルダーを作ろうと思いつきました。それをきっかけに他の商店の看板文字も集めて、「もじみやげ」をデザイン。自分の視点で杉戸町の面白さを発見し、お土産にできたことが嬉しかったです。

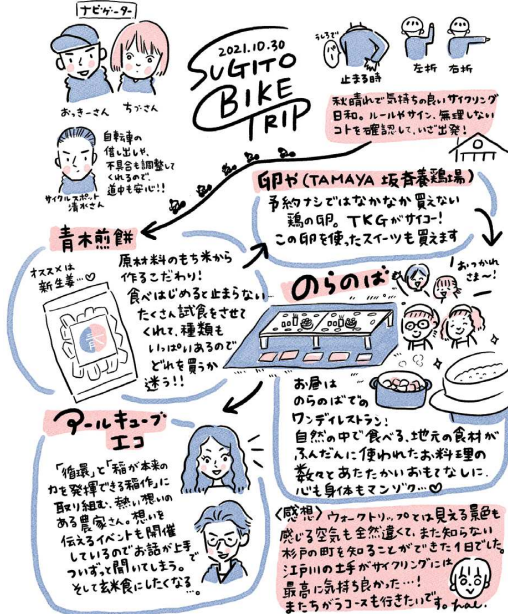


まちを彩るカッコイイ看板たちは杉戸の顔！キーホルダーは「ひとつ屋根の下」にて販売中！



人見知りだけど人が好き ヨシちゃん

最高に気持ち良かった自転車旅レポ！

エントメックスの
イラストレーター
はるちゃん

土に触れて、太陽や風を感じる場所



カラフルな新鮮野菜



1日限りの食堂オープン！

野外はおいしさも
3倍増し子どもにも土に触れる
体験を

東武動物公園駅から自転車で10分も走ると、田園風景が広がる杉戸町。自分たちの食べる野菜くらいは自分たちで作れるようになると、田んぼの中の広い空き地を開墾して少しずつ始めた畑が「のらば」です。のりくらりと野菜仕事する時間を大切にしたいという思いでそう名づけました。LOCAL TRIPでは「のらば」で採れた野菜を使い、1DAYレストランを実験的にオープン。みんなで料理を作り、フラッグを飾り、テーブルセッティングし、居心地よい空間に。青空の下で食べるごはんは格別で、参加者はみんなうれしそうでした。土に触れて太陽や風を感じたい人は、ぜひ仲間になってほしいです。

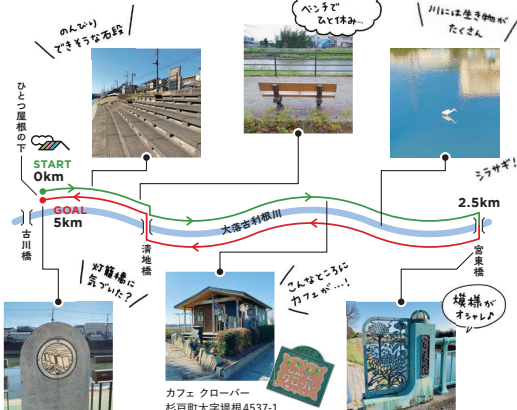
メニューは
鶏肉の煮込み＆
地元産の
お米と野菜！辛口しごと作家
みずほ

リラックスしながら走るランニングのススメ



杉戸町に移住して1年。ランニングが趣味で毎日のように走っていますが、初心者におススメのコースはフラットな川沿いの道です。ただひたすら走るだけでなく、途中でスピードダウンしたり、ひと息休憩を入れながら、川辺の細かな見どころを発見するのが楽しい。橋の模様や、欄干のデザインに注目するのも面白いし、川の中にあるメ

ダカや鴨を見ながらぼんやりすれば、心拍数も落ちて、何より気持ちが良い。でも最近気になっているのが、川辺に落ちているゴミ。今後はランニングをしながら、ゴミ拾いのイベントをしてみたいです。



記憶に残らない、日常の美しさを探す



これは映像作家の僕が、カメラ越しから見た杉戸の風景。象徴的なモニュメントはないけれど、日常に埋められている川や田んぼ、裏路地の景色がとても美しく見えて、探す楽しみがありました。自分なりの美しい1シーンを見つけたせるのが杉戸歩き面白いです。

この映像は
「ひとつ屋根の下」
ホームページにて
公開中！コーヒーと妻を
愛す
ヒデキンソン

歩きでも車でもない、自転車での冒険

自転車歴10年の
エンジニア
やまさん

車では通れない川や水路沿いの小道を行くと、何十年も人を渡してきた古い橋、思わず春の景色を想像する桜並木、目ぐるしく映像が変わるような景色に巡り合えてワクワクします。水の香りが気持ちよく季節を感じられますよ。

自転車では通れない
細道にときめく江戸川のサイクリングロードは
直線が爽快古い橋に立ち止まって
想いを馳せるもよし

河原で焚き火ナイト



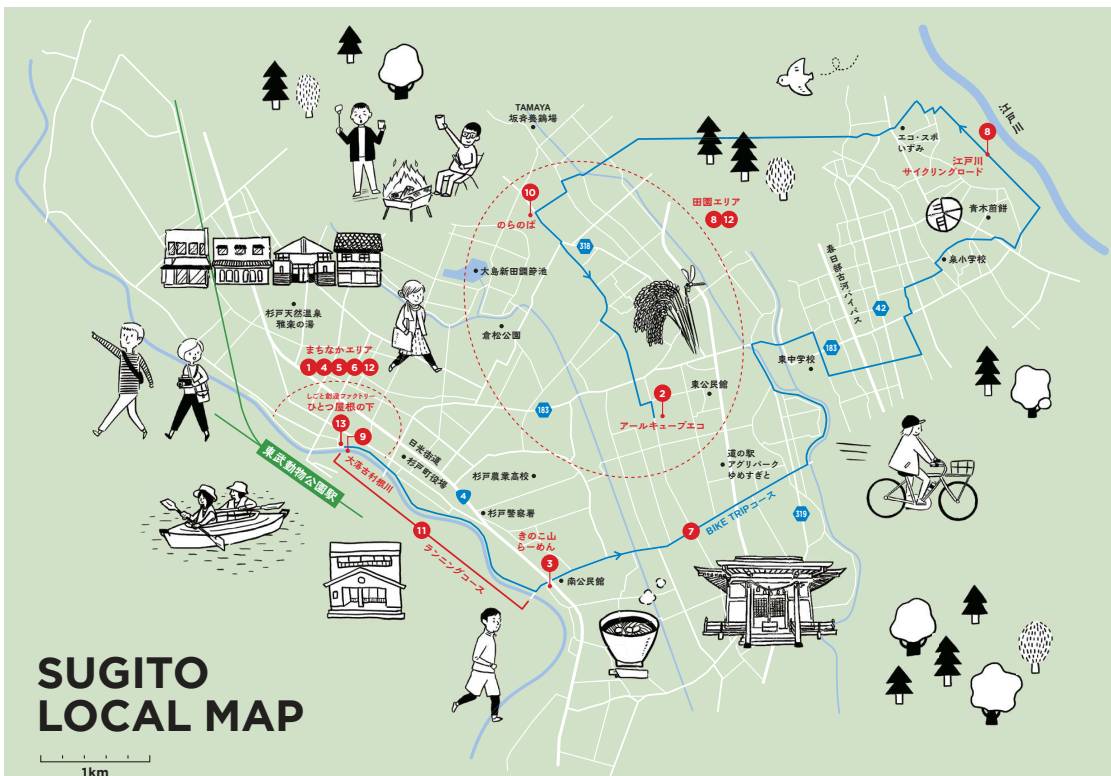
アウトドアブーム再来中の私。急に焚火がやりたくなくて、まちなかを流れる古利根川の河原でやってみることに。焚火台に椅子、ソーセージとマシュマロ。薪と火消しを準備してスタート。刻々と暮れゆく空。火に興味津々な子どもたちの顔と、大人たちのたわいもない会話。都会でも田舎でもない身近な場所で、仲間と気軽に楽しむアウトドアもいい。

スーパーカブ乗り
建築マン
ハラちゃん

夕暮れを眺めながら火を開火で語る

SUGITO LOCAL MAP

1km



自分とまちに化学反応を起こす実験の場



LOCAL TRIPのスタート地点『しごと創造ファクトリーひとつ屋根の下』は、杉戸町の元駐輪場をリノベーションし、2021年7月にオープンしました。テーマはしごとの学校。しごとづくり科では「月3万円ビジネス」を中心に仕事を生み出す教室を、ものづくり科「チャルカテーブル」では、仕事で得意なメンバーが作品販売やワークショップを開催、デザイン科では「こころへんみやげ店」が地域のお土産を開発しています。仕事や遊びを生み出し、地域ににじみ出ていく仲間を絶賛募集中！まずは毎月第3日曜日の「321の市」に遊びに来てくださいね！



杉戸町のお祭りぐっさん

しごと創造ファクトリー
ひとつ屋根の下
杉戸町杉戸3-9-16
www.hitoyane.org